

さまざまな学問適性、職業適性が 判定されるので、**幅広い視野で 進路を考えることができる。**

東京都立 豊島高等学校

主任教諭 学年進路指導担当 たけふみ 小林 起史先生

東京都立豊島高等学校は、80年以上の歴史と伝統を誇る男女共学校です。「校是『至誠』の下、何事にも誠心誠意全力で打ち込む生徒を育成するため、主体性の向上、一段高い進路希望の実現」を教育目標とし、探究的活動、海外学校間交流等、特色のある教育活動を展開しています。部活動も活発で、吹奏楽部等が、数々の大会で優秀な成績をおさめています。



一進路指導の取り組みと、最近の進路状況についてお教え下さい。

小林先生 本校の進路指導は「一段高い進路希望の実現」を目標に掲げています。1年次から進路分野別ガイダンスをはじめ、国公立ガイダンス、看護医療系、公務員対策のガイダンスを充実させ、自分の適性や将来を考える時間を増やし、進路実現に向けてサポートしていく体制をとっています。例えば、1年次には大学出張講義を実施して大学の学びについて考える機会を設けたり、1・2年生の希望者と保護者を対象に、理系・文系の大学の研究室訪問を実施したりしています。進路状況は、例年、全体の8割以上の生徒が四大・短大に進学しており、専門学校への進学は1割程度です。年内入試が増えていく一方で、国公立大をはじめ、難易度がより高い一般選抜試験にチャレンジする生徒が多いのも最近の傾向となっています。

一「文理選択適性検査ジブラボ」(以下「ジブラボ」)の採択のポイントと、年間指導計画の中での位置づけをお教えください。

小林先生 性格検査を実施されている学校は多いと思いま

すが、本校の場合は能力も指標の一つとして活用していきたいという考えから、性格検査と能力検査が含まれている点や価格等を総合的に判断して『ジブラボ』の採択に至りました。本校は、例年、1年次9月に、2年次の科目選択の予備調査を行い、11月末に科目選択を決定します。それに向けての判断材料の一つとして、1年次1学期の6月に『ジブラボ』を実施しました。

一『ジブラボ』の判定結果はどのような場面で返却されましたか？ また、その際の生徒さんの反応はいかがでしたでしょうか？

小林先生 『ジブラボ』の判定結果は、夏休みに入る前のホームルームの時間に、付録の『ジブラボブック』と併せて返却しました。「生徒用アドバイスシート」は、「希望実現!」「個性発見!」「文理発見!」「適性発見!」の4区分で構成されており、とても見やすいという印象を受けました。返却時の生徒の反応は、結果を友だち同士で見せ合ったり、適性が高いと判定が出た学問分野を、その場で『ジブラボブック』で調べてみたりと、さまざまでした。例えば「都市基盤システム」などは聞き慣れていないようで、生徒にとっては、今まで知らなかった学問分野を知るよききっかけに

